

マテリアル工学倫理 (MA3401L1)

担当教員：星野 岳穂 特任教授，醍醐 市朗 准教授

対象：第3学年

単位数：1.0

バイオ

環境・基盤

ナノ・機能

限定

限定

限定

実施時期：S1S2 セメスター 木曜日 6 時限

場所：オンライン

講義目的

研究や技術を社会に活用するには、技術自身の意味、技術と人の関係、技術と社会の関係を的確に認識することが求められる。近年は特に研究や技術をめぐる姿勢と手順の適切なあり方が問われている。研究や技術が真の価値を生むために鍵となる事項を理解する。

講義項目

- ・マテリアル工学科講義（学科内）
 - ・工学倫理講演会ビデオ視聴
 - 1. 科学技術倫理とは何か
 - 2. 失敗に学ぶ—失敗しても正直でいられるか
 - 3. 生命倫理の考え方と規制：世界と日本
 - 4. 組織システムと技術倫理
 - 5. 出版倫理
 - 6. 開発者の責任—科学技術・法・倫理をつなぐ—
 - 7. ネットワークの脅威と情報セキュリティ—ウイルス等ネットワークの脅威の変遷と対策—
 - 8. 科学研究における倫理・ガイドライン
- ◎工学倫理講演会出席時に受講済証を受け取り、レポートを記入の後提出する。
◎講義日、レポート締切日等は後日掲示する。

理解すべき事項

技術者・研究者としての社会における役割とその倫理

関連する講義

事前履修：なし

並行履修：なし

事後履修：なし

参考書（テキスト）：(社)日本技術士会訳編：科学技術者の倫理（丸善）

参考書（演習書）：

講義ノートのリンク先：

成績評価：工学倫理講演会への出席とレポート、マテリアル工学科講義の出席とレポートの評価による

備考